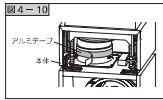


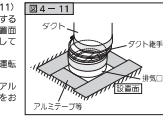
こちら側は裏面です。必ず表面からお読みになり、正しく取り付けをおこなってください。
安全上のご注意・取り付け前の調査と準備・取り付け上のお願いは表面をご覧ください。

取り付けかた (つづき)

8 ダクト取手接合部へ阻礙防止のチーピング (アルミテープ) をおこなってください。
(図4-10)



■ 排気口設置面の高気密部のお取り扱い (図4-11)
ダクトを接続する際に高気密部に圧縮しようとする
と、ダクト継ぎ、排気口および排気口の設置面
(フード天面等) が変形し、風漏れが発生して
しまう場合があります。
風漏れ防止のために、ダクトの接続後は試運転
(強運転) をおこなってください。
測定する場合は、排気口と気密面の間をアル
ミテープ等 (現場調整用) で漏風防止処置をお
こなってください。



5. 電気配線

警告

- 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをするおそれがあります
- 交流 100 V 以外では使用しないこと
火災・感電の原因になります
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が
工事をおこなうこと
誤った配線工事は感電や火災の原因になります
- アースを確実に取り付けること
感電や感電のときに感電するおそれがあります
アースの取付けには取扱説明書をご覧ください

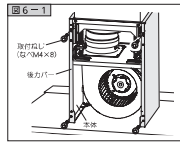
1 アース (D 種接地工事) を取ります。
※アース線は取り付け作業前に手配します。

2 分電線のブレーカーを「切」にし、電源プラグをコンセントに差し込みます。
おまじ
● 電源は専用のコンセント (2 極並列接続用 15A、125V) およびブレーカーを
抜けてください。
● コンセントは電源コードの長さを考慮して設置してください。

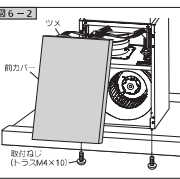
6. 運転準備

1 本体に前カバー・後カバーを取り付け
ます。(図6-1)

1) 各部品が確実に組み立てられている
か確認した後、本体のネジカバーを「3.
本体の準備」手順書の2) にな
ずした取付ねじ (径×M4×8) 4
本で固定します。

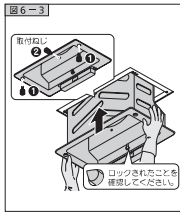


2) 前カバーは上部のツメを引っ掛
け、下側を取付ねじ (トラス
M4×10) 2 本で固定します。
(図6-2)



2 誘導カートリッジを取り付けます。
(図6-3)

1) 誘導カートリッジを両手で持ち、
開口部に差し入れます。
内側奥にあるストッパーで固定さ
れるまで、まっすぐにゆっくりと
押し込みます。
※誘導カートリッジがストッパ
ーで確実に固定されたことを確認
してください。



2) 取付ねじを①、②の順番で固定し
ます。

おまじ
誘導カートリッジはゆっくりに
押し込んでください。キズ・変形
の原因になります。

3 整流板を取り付けます。
「3. 本体の準備」で取りはずしたときと逆の手順で取り付けます。

おまじ
整流板の固定は確実におこなってください。ロックが不十分だと整流板の
落下の原因になりますので、取り付け後、再確認してください。

7. 試運転

注意



● 運転中は指や物を絶対に入れないこと
けがをするおそれがあります



- 分電線のブレーカーを「入」にし、スイッチを操作して運転状態を確認してください。
スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。
- 運転時、各要素の排気が正しくおこなわれていることを確認してください。
- 異常な騒音、振動がないことを確認してください。
- 屋外の排気出口から排気され、異常がないことを確認してください。
- 取り付けまたは各種工事によって発生した不具合で修理を依頼されますと全て無料となり
ますので十分確認してください。

8. お客様への説明

- 取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
- 取扱説明書と共に、この取付説明書を必ずお客様へお渡しください。

(製造元) 富士工業株式会社

本社・営業部 〒252-0206 相模原市中央区淵野辺2丁目1-9
TEL 042(768)3754 (営業部)